

目次	1
使用上のご注意	2
注意	2
はじめに	4
機能	4
パッケージ内容	5
各部名称	6
本体	6
コントロールパネル	7
接続ポート	8
リモコン	9
インストール	10
プロジェクターを接続する	10
プロジェクターの電源を入れる/切る	11
プロジェクターの電源を入れる	11
プロジェクターの電源を切る	12
警告インジケータ	12
投射イメージの調整	13
投射イメージの高さ調整	13
プロジェクターのズーム/フォーカスの調整	14
投射イメージのサイズ調整	14
ユーザーコントロール	15
コントロールパネルとリモートコントロール	15
オン・スクリーン・ディスプレイメニュー	17
使用方法	17
言語	18
色 (コンピュータ/ビデオモード)	19
イメージ (コンピュータモード)	21
イメージ (ビデオモード)	22
オーディオ (コンピュータ/ビデオモード)	23
管理 (コンピュータ/ビデオモード)	24
付録	28
トラブルシューティング	28
ランプの交換	32
規格	34
互換性モード	35

注意

製品を長持ちさせるために、当ユーザーズガイドに記載された警告、注意、メンテナンスに関する推奨事項に従ってください。

-  **警告-** プロジェクターのランプが点灯している間は、プロジェクターのレンズを直視しないでください。明るい光が目をつける恐れがあります。
-  **警告-** 火災や感電の危険性を回避するため、当製品を雨や湿気のある場所に放置しないでください。
-  **警告-** 感電の恐れがありますので、当製品を開いたり、分解しないでください。
-  **警告-** ランプ交換の際は、本体が冷めてから、ランプ交換に関するすべての指示に従い、行ってください。
-  **警告-** 当製品は自動的にランプの寿命を検出します。警告メッセージが表示された時は、必ずランプを交換してください。
-  **警告-** ランプモジュールを交換した後は、オン・スクリーン・ディスプレイの "管理" メニューから、"ランプリセット" 機能でランプをリセットしてください (25ページ参照)。
-  **警告-** プロジェクターのスイッチを切る場合、電源から取り外す前に、プロジェクターの冷却サイクルが完了したことを確認してください。
-  **警告-** まずプロジェクターの電源を入れてから、シグナルソースの電源を入れてください。
-  **警告-** プロジェクター作動中は、レンズキャップを使用しないでください。
-  **警告-** ランプが寿命に達すると、オーバーヒートを起こし、大きな音を立てます。こうなると、ランプモジュールを交換するまで、プロジェクターの電源を入れることができなくなります。ランプを交換する際は、"ランプの交換" の手順に従ってください。

使用上のご注意

お守り下さい:

- ❖ お手入れの前に本体の電源を切ってください。
- ❖ 中性洗剤を浸した柔らかい布でディスプレイの外側を拭いてください。
- ❖ 長期間当製品をご使用にならない場合は、AC電源から電源プラグを取り外しておいてください。

禁止事項

- ❖ 通気のためのスロットや穴を塞ぐこと。
- ❖ 本体を研磨剤、ワックス、溶剤などで清掃すること。
- ❖ 以下のような環境で使用する事:
 - 極度に高温、低温、高湿の環境。
 - ホコリやチリの非常に多い場所。
 - 強い電磁場を発生する装置の付近。
 - 直射日光の当たる場所。

機能

当製品は、SVGA シングルチップ 0.55" DLP™ プロジェクターです。以下の機能が含まれます。

- ◆ フル SVGA、854 x 480 指定可能ピクセル
- ◆ シングルチップ DLP™ 技術
- ◆ NTSC/PAL/SECAM および HDTV 準拠 (480i/p、576i/p、720p、1080i)
- ◆ 完全機能リモートコントロール
- ◆ ユーザーフレンドリーな多言語オン・スクリーンメニュー
- ◆ アドバンス **デジタル**キーストン補正と高画質全画面でのイメージ再スケーリング
- ◆ ユーザーフレンドリーなコントロールパネル
- ◆ SXGA+、SXGA、XGA 圧縮、および VGA、SVGA リサイズ
- ◆ MAC 互換

パッケージ内容

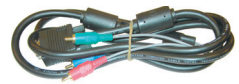
当プロジェクターには以下のアイテムが付随しています。すべてのアイテムが同梱されていることを確認してください。万一不足品がある場合は、すぐにお買い上げ店にお問い合わせください。



プロジェクターと
レンズキャップ



電源コード



VGA -コンポーネント
/ HDTV



コンポジットビデオ
ケーブル



USB ケーブル



VGA ケーブル



S-Video ケーブル



オーディオ
ケーブル



リモートコントロール



電池 x 2



ユーザーズ
ガイド

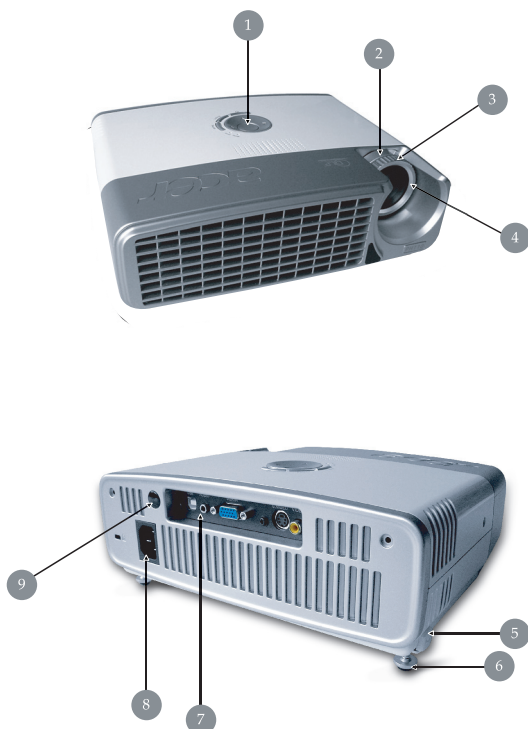


キャリー
ケース



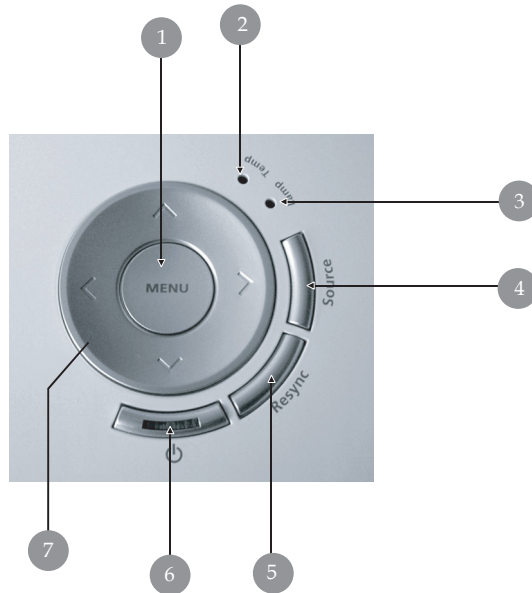
クイックスタート
ガイド

各部名称 本体



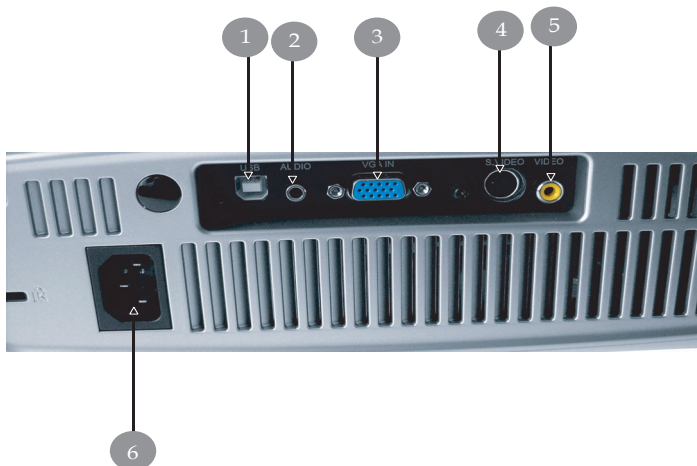
1. コントロールパネル
2. ズームリング
3. フォーカスリング
4. ズームレンズ
5. エレベーターボタン
6. エレベーターフット
7. 接続ポート
8. 電源ソケット
9. リモコン受信機

コントロールパネル



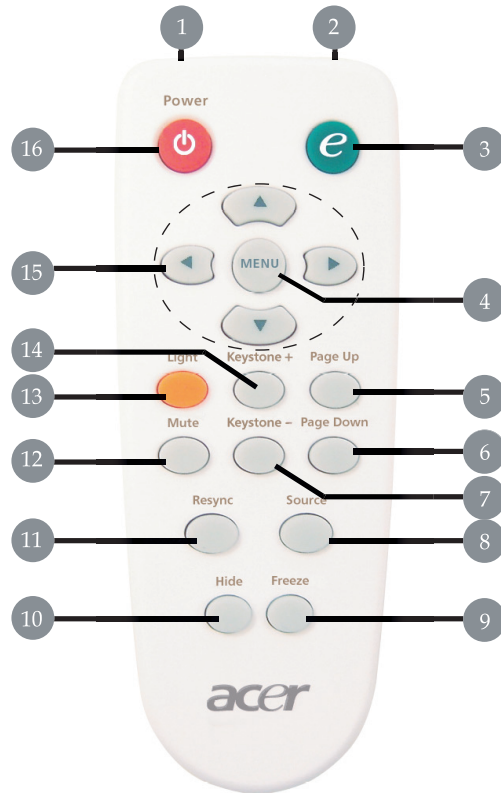
1. メニュー
2. 温度インジケータ LED
3. ランプインジケータ LED
4. ソース
5. 再同期化
6. 電源とインジケータ LED (電源 LED)
7. 4つの方向選択キー

接続ポート



1. USB コネクタ
2. オーディオ入力コネクタ
3. PC アナログシグナル/ HDTV /コンポーネントビデオ入力コネクタ
4. S-Video 入力コネクタ
5. コンポジットビデオ入力コネクタ
6. 電源ソケット

リモコン



- | | |
|----------------|---------------|
| 1. LEDランプ | 9. フリーズ |
| 2. 通信インジケータランプ | 10. 非表示 |
| 3. 実行キー | 11. 再同期化 |
| 4. メニュー | 12. ミュート |
| 5. 上ページ | 13. ランプ |
| 6. 下ページ | 14. キーストン+ |
| 7. キーストン- | 15. 4つの方向選択キー |
| 8. ソース | 16. 電源 |

プロジェクターを接続する



- | | |
|--------|--------------------|
| 1..... | 電源コード |
| 2..... | USB ケーブル |
| 3..... | オーディオケーブル |
| 4..... | VGA ケーブル |
| 5..... | S-Video ケーブル |
| 6..... | VGA -コンポーネント/ HDTV |
| 7..... | コンポジットビデオケーブル |

プロジェクターの電源を入れる/切る

プロジェクターの電源を入れる

1. レンズキャップを外します。
2. 電源コードとシグナルケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。
電源 LED が青く点滅します。
3. コントロールパネルの [] ボタンを押して、ランプをオンにします。
① これで、電源 LED が青く点灯します。
4. ソース (コンピュータ、ノートパソコン、ビデオプレーヤーなど) の電源を入れます。
プロジェクターが自動的にソースを検出します。

- ❖ 画面に "信号なし" と表示されます。シグナルケーブルがしっかりと接続されていることを確認してください。
- ❖ 同時に複数のソースが接続されている場合は、リモコンまたはコントロールパネルの [ソース] ボタンを押して切り替えます。



- ❖ まずプロジェクターの電源を入れてから、シグナルソースの電源を入れてください。



プロジェクターの電源を切る

1. まず [ⓧ] ボタンを押してプロジェクターランプを切ります。ここで、"シャットダウンの手順を完了するには、もう一度電源ボタンを押してください。警告: プロジェクターのファンが作動中は、コンセントから抜かないで下さい" というメッセージがプロジェクターの画面に表示されます。もう一度 [ⓧ] ボタンを押して確認してください。ボタンを押さない場合、メッセージは5秒後に自動的に消えます。
2. 冷却ファンは約**60**秒間作動し、電源 LED が青く点灯し続けます。電源 LED が点灯を始めたら、プロジェクターはスタンバイモードに入ります。
プロジェクターを再度オンにしたい場合は、プロジェクターが冷却サイクルを完了し、スタンバイモードに入るまでお待ち下さい。スタンバイモードに入ったら、[ⓧ] ボタンを押してプロジェクターを再起動することができます。
3. コンセントとプロジェクターから電源コードを外してください。
4. 電源を切ったすぐ後は、プロジェクターの電源を入れないでください。

警告インジケータ

- ❖ "ランプ" のインジケータが赤く点灯した場合、プロジェクターは自動的にシャットダウンします。この場合、お近くの販売店またはサービスセンターにお問い合わせください。
- ❖ "温度" のインジケータランプが**20**秒間赤く点灯した場合、プロジェクターがオーバーヒートしていることを意味します。プロジェクターは自動的にシャットダウンします。
通常は、十分に冷却してからプロジェクターの電源を再度入れることができます。問題が持続する場合は、お近くの販売店またはサービスセンターにお問い合わせください。
- ❖ "温度" インジケータが **10**秒間赤く点灯した場合は、お近くの販売店またはサービスセンターにお問い合わせください。

投射イメージの調整

投射イメージの高さ調整

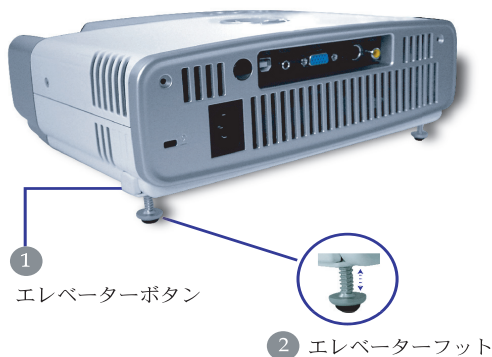
プロジェクターにはイメージの高さを調整するためのエレベーターフットが装備されています。

イメージの高さを上げる:

1. エレベーターボタン ① を押します。
2. 希望の高さ ② までイメージを上げ、ボタンを放してエレベーターフットの位置を固定します。

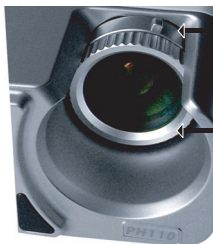
イメージの高さを下げる:

1. エレベーターボタンを押します。
2. イメージを下げ、ボタンを放してエレベーターフットの位置を固定します。



プロジェクターのズーム/フォーカスの調整

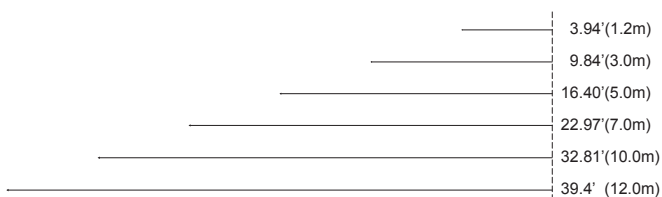
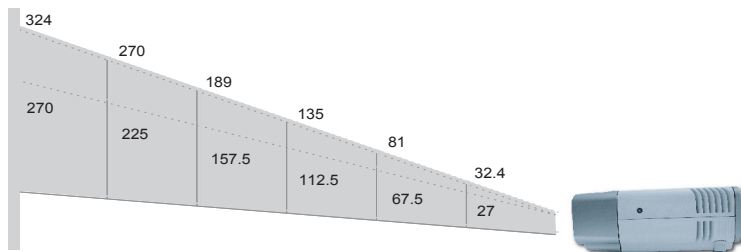
ズームリングを回すと、ズームインまたはズームアウトができます。イメージの焦点を合わせるには、イメージが鮮明になるまでフォーカスリングを回します。このプロジェクターは3.94～39.4フィート(1.2m～12.0m)で焦点が合います。



ズームリング

フォーカスリング

投射イメージのサイズ調整



投射 距離 (メートル)		1.2	1.5	2	2.2	3	4	5	6	7	8	9	10	12
16:9 画面 サイズ-対角線 (インチ)	ワイド	32.4	40.5	54	59.4	81	108	135	162	189	216	243	270	324
	テレ	27	33.75	45	49.5	67.5	90	112.5	135	157.5	180	202.5	225	270

❖ このグラフは参考データです。

ユーザーコントロール

コントロールパネルとリモートコントロール

機能のコントロールには、リモートコントロールとコントロールパネルの2種類の方法があります。

コントロールパネル リモートコントロール



コントロールパネルを使う

電源

- ▶ 11～12ページの"プロジェクターの電源を入れる/切る"をご覧ください。

ソース

- ▶ [ソース]を押して、RGB、コンポーネント-p、コンポーネント-i、S-Video、コンポジットビデオ、HDTV ソースの中から選択します。

メニュー

- ▶ [メニュー]を押して、オン・スクリーン・ディスプレイ (OSD) メニューを表示します。OSDを終了する際は、もう一度[メニュー]を押します。

4つの方向選択キー

- ▶ (▲)(▼)(◀)(▶)を使ってアイテムを選択したり、選択アイテムの値を調整します。

ユーザーコントロール

リモートコントロールを使う

電源

- ▶ 11～12ページの"プロジェクターの電源を入れる/切る"をご覧ください。

実行キー

- ▶ オン・スクリーン・ディスプレイメニューの【画面モード】サブメニューを表示し、ムービー、ゲーム、写真、情報、スポーツ、コンサート、ユーザーの中から直接画面モードを選択することができます。

メニュー

- ▶ 【メニュー】を押して、オン・スクリーン・ディスプレイ (OSD) メニューを表示します。OSDを終了する際は、もう一度【メニュー】を押します。

4つの方向選択キー

- ▶     を使ってアイテムを選択したり、選択アイテムの値を調整します。

ランプ

- ▶ このボタンを押すと、フラッシュライト（白いLED）が稼働します。

ミュート

- ▶ オーディオを一時的にオフにします。

キーストン+/-

- ▶ プロジェクターの傾きによるイメージの歪みを修正します ($\pm 15^\circ$)

上ページ (コンピュータモードのみ)

- ▶ このボタンを押して上のページへ進みます。この機能は、プロジェクターが USB ケーブル経由でコンピュータに接続されている場合のみ有効です。

下ページ (コンピュータモードのみ)

- ▶ このボタンを押して下のページへ進みます。この機能は、プロジェクターが USB ケーブル経由でコンピュータに接続されている場合のみ有効です。

再同期化

- ▶ プロジェクターを入力ソースに自動的に同期化します。

非表示

- ▶ ビデオを一時的にオフにします。【非表示】を押すとイメージを非表示にし、もう一度押すとイメージを表示します。

ソース

- ▶ 【ソース】を押して、RGB、コンポーネント-p、コンポーネント-i、S-Video、コンボジットビデオ、HDTV ソースの中から選択します。

フリーズ

- ▶ 【フリーズ】を押すと画面イメージを一時停止します。

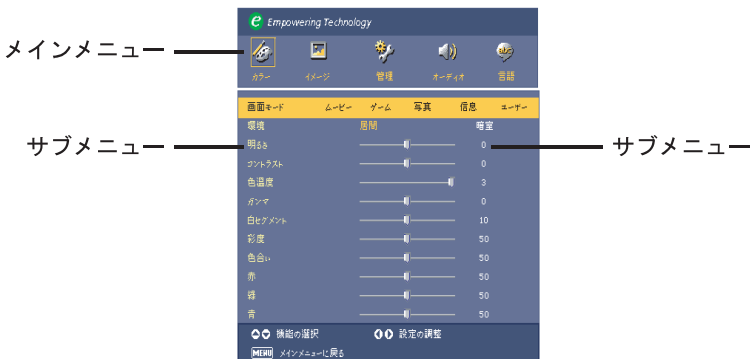
ユーザーコントロール

オン・ スクリーン・ ディスプレイメニュー

プロジェクターには多言語のオン・ スクリーン・ ディスプレイメニューが用意されており、イメージを調整したり、様々な設定を変更することができます。プロジェクターは自動的にソースを検出します。

使用方法

1. OSD メニューを開くには、リモコンまたはコントロールパネルの [メニュー] ボタンを押します。
2. OSD が表示されたら、◀ ▶ キーを使ってメインメニューのアイテムを選択します。希望のメインメニューアイテムを選択したら、▼ を押して、機能設定を行うサブメニューに入ります。
3. ▲ ▼ キーを使って希望のアイテムを選択し、◀ ▶ キーで設定を調整します。
4. サブメニューで、次に調整するアイテムを選択し、上記と同じ方法で調整します。
5. リモコンまたはコントロールパネルの [メニュー] をもう一度押すと、画面はメインメニューに戻ります。
6. OSD メニューを終了するには、リモコンまたはコントロールパネルの [メニュー] ボタンをもう一度押します。OSD メニューが終了し、プロジェクターは自動的に新しい設定を保存します。



ユーザーコントロール



言語

言語

多言語 OSD メニューをご用意しました。▲または▼キーを使って希望の言語を選択してください。

リモコンまたはコントロールパネルの [メニュー] を押すと、選択を確定します。

ユーザーコントロール



色 (コンピュータ/ ビデオモード)

画面モード

イメージの設定の多くには、工場出荷時のプリセットが用意されています。

コンピュータモード:

- ▶ ムービー: ホームシアターを楽しむことができます。
- ▶ ゲーム: ビデオゲームを楽しむことができます。
- ▶ 写真: イメージを表示します。
- ▶ 情報: プレゼンテーションを表示します。
- ▶ ユーザー: ユーザ設定を記憶します。

ビデオモード:

- ▶ ムービー: ホームシアターを楽しむことができます。
- ▶ ゲーム: ビデオゲームを楽しむことができます。
- ▶ スポーツ: スポーツ観戦をします。
- ▶ コンサート: コンサート鑑賞をします。
- ▶ ユーザー: ユーザ設定を記憶します。

環境

環境適切な室内環境を選択します。

- ▶ 居間: リビングルームで表示します。
- ▶ 暗室: 暗室で表示します。

明るさ

イメージの明るさを調節します。

- ▶ イメージを暗くするには ◀ を押します。
- ▶ イメージを明るくするには ▶ を押します。

コントラスト

コントラストはイメージの明るい部分と位部分の間の差異を調節するためのものです。イメージの黒と白の部分を変更して、コントラストを調整します。

- ▶ コントラストを下げるには ◀ を押します。
- ▶ コントラストを上げるには ▶ を押します。

色温度

色温度を調整します。温度が高いほど、画面は冷たく見え、温度が低いほど、画面は暖かく見えます。

白セグメント

白セグメントを使って DMD チップの白いピークレベルを設定します。

ユーザーコントロール



色 (コンピュータ/ ビデオモード)

0 は最低セグメント、10 は最高セグメントを意味します。シャープなイメージを得るには、最大設定に調整してください。よりスムーズで自然なイメージを得るには、最低設定に調整してください。

ガンマ

暗い画像を調整します。ガンマ値が高いほど、暗い画像が明るくなります。

彩度

白黒のビデオイメージを完全な純色に調整します。

- ▶ ◀ を押してイメージの色を下げます。
- ▶ ▶ を押してイメージの色を上げます。

色合い

赤と緑のカラーバランスを調整します。

- ▶ ◀ を押してイメージの緑色を強めます。
- ▶ ▶ を押してイメージの赤色を強めます。



- ❖ "彩度"および
"色合い"機能
は、コンピュー
タモードではサ
ポートされてい
ません。

赤

赤色を調整します。

緑

緑色を調整します。

青

青色を調整します。

ユーザーコントロール



イメージ (コンピュータ モード)

キーストン

投射の傾きによるイメージの歪みを調整します。(±15°)

アスペクト比

この機能で、希望のアスペクト比を選択します。

- ▶ 16:9: 入力ソースは画面の幅に合わせて調整されます。
- ▶ 4:3: 入力ソースは投射画面に合わせて調整されます。
- ▶ Crop: 4:3 縦横比の画像は拡大され、画像の上下部分は 16:9 画面に合わせて切り取られます。
- ▶ L. Box: 入力ソースはレターボックスに合わせて表示されます。

水平位置

- ▶ ◀ を押してイメージを左へ移動します。
- ▶ ▶ を押してイメージを右へ移動します。

垂直位置

- ▶ ◀ を押してイメージを下へ移動します。
- ▶ ▶ を押してイメージを上へ移動します。

周波数

"周波数" はディスプレイデータ周波数をコンピュータのグラフィックカードの周波数に合わせて変更します。縦にちらつきが生じる場合は、この機能を使って調整します。

トラッキング

"トラッキング" は、ディスプレイのシグナルタイミングをグラフィックカードと同期化させます。イメージが不安定になったり、ちらつきが生じる場合は、この機能を使って修正します。

ユーザーコントロール



イメージ (ビデオモード)

キーストン

投射の傾きによるイメージの歪みを調整します。(±15°)

アスペクト比

この機能で、希望のアスペクト比を選択します。

- ▶ 16:9: 入力ソースは画面の幅に合わせて調整されます。
- ▶ 4:3: 入力ソースは投射画面に合わせて調整されます。
- ▶ Crop: 4:3 縦横比の画像は拡大され、画像の上下部分は 16:9 画面に合わせて切り取られます。
- ▶ L. Box: 入力ソースはレターボックスに合わせて表示されます。

鮮明度

イメージの鮮明度を調節します。

- ▶ 鮮明度を下げるには ◀ を押します。
- ▶ 鮮明度を上げるには ▶ を押します。

ユーザーコントロール



オーディオ (コンピュータ/ ビデオモード)

音量

- ▶ ◀ を押して音量を下げます。
- ▶ ▶ を押して音量を上げます。

ミュート

- ▶ [オン] を選択するとミュートします。
- ▶ [オフ] を選択するとミュートを解除します。

ユーザーコントロール



管理

(コンピュータ/ ビデオモード)

メニュー位置

ディスプレイ中のメニューの位置を選択します。

投射方式

▶ 前面デスクトップ

工場出荷時の初期設定です。

▶ 背面デスクトップ

この機能を選択すると、プロジェクターはイメージを反転させ、透明な画面の裏側にイメージを映し出すことができます。

▶ 前面天井

この機能を選択すると、プロジェクターはイメージを上下逆にして、天井取り付け型の投射用に調整します。

▶ 背面天井

この機能を選択すると、プロジェクターはイメージを上下逆にした上で反転させます。背後から、天井取り付け型の投射を行う際に使います。

ユーザーコントロール



管理

(コンピュータ/ ビデオモード)

ソースロック

ソースロックがオフになっていると、現在の入力シグナルが失われた時に、プロジェクターはその他のシグナルを検索します。ソースロックがオンになっていると、リモコンの【ソース】ボタンを押す前に、現在のソースチャンネルが"ロック"されます。

ランプ使用時間

ランプの作動経過時間を、時間で表示します。

ランプリセット

▶ ボタンを押してから、【はい】を選択すると、ランプ時間が0にリセットされます。

ランプ警告

この機能を選択すると、ランプ変更メッセージが表示された時の警告メッセージを表示、または非表示にします。このメッセージは、寿命に達するまでの30時間表示されます。

OSD 透過度

OSDの透過度を調整します。

ユーザーコントロール



管理

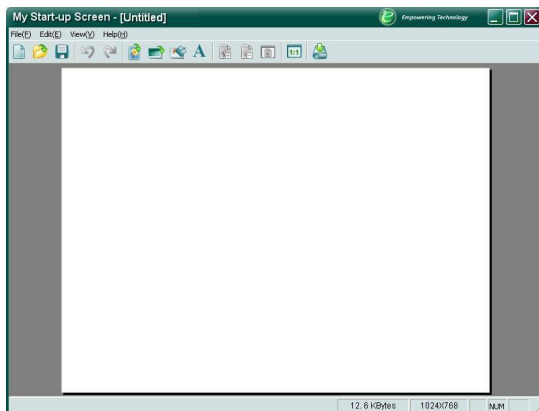
(コンピュータ/
ビデオモード)

Start-up Screen

この機能を使い、希望のスタートアップ画面を選択します。設定を変更し、OSD メニューを終了すると、すぐに新しい設定が有効になります。

- ▶ **Acer:**既定のスタートアップ画面は **Acer プロジェクター** です。
- ▶ **ユーザー:**ユーザー定義の既定スタートアップ画面は、USB ケーブルと **My Start-up Screen** ユーティリティを使って、PC からプロジェクターにダウンロードすることができます (以下の説明をご覧ください)。

My Start-up Screen



ユーザーコントロール



管理

(コンピュータ/ ビデオモード)

Acer の **My Start-up Screen** は、Acer プロジェクターの既定のスタートアップ画面を任意のイメージに変更するための PC ユーティリティです。バンドルの CD から **My Start-up Screen** をインストールすることができます。付属の USB ケーブルでプロジェクターを PC に接続し、**My Start-up Screen** ユーティリティを実行し、PC からプロジェクターへ希望のイメージをダウンロードしてください。ダウンロードを始める前に、プロジェクターを"ダウンロードモード"に切り替える必要があります。以下の手順で"ダウンロードモード"に切り替えてください。

1. プロジェクターの AC 電源コードが外れている場合は、AC 電源を接続してください。
2. プロジェクターの電源が入っている場合は、電源ボタンを 2 回押してプロジェクターをオフにしてください。
3. プロジェクターのすべてのファンが止まっていることと、"電源" LED が点滅していることを確認してください。
4. "Menu/Enter" ボタンを押しながら "⏻" ボタンを押します。
5. "Temp" と "Lamp" の LED が再び点灯した後で両方のボタンを放すと、プロジェクターがダウンロードモードに入ります。
6. USB ケーブルがプロジェクターに接続されていることを確認してください。

ダウンロード手順に関する詳細は、**My Start-up Screen** のオンラインマニュアルを参照してください。

リセット

Ⓐ ボタンを押してから、[はい]を選択すると、すべてのメニューの値が工場出荷時の設定に戻ります。

トラブルシューティング

プロジェクターの使用に関して、問題が生じた場合は、以下を参照してください。問題が持続する場合は、お近くの販売店またはサービスセンターにお問い合わせください。

問題: 画面にイメージが表示されません。

- ▶ すべてのケーブルと電源接続が正しく行われ、"インストール" 部分に説明されたとおり、しっかりと接続されていることを確認してください。
- ▶ コネクタのピンが曲がったり、破損していないか確認してください。
- ▶ 投射ランプがしっかりとインストールされているか確認してください。"ランプの交換" を参照してください。
- ▶ レンズキャップが取り外されており、プロジェクターの電源が入っているかどうか確認してください。
- ▶ "非表示" 機能が無効になっているかどうか確認してください。

問題: イメージが部分的にしか表示されない、スクロールしない、または正しく表示されません。

- ▶ リモコンの [再同期化] ボタンを押してください。
- ▶ PC を使用している場合:
コンピュータの解像度が 854 x 480 以上の場合、以下の手順で解像度をリセットしてください。

Windows 3.x を使用している場合:

1. Windows のプログラムマネージャで、メイングループの [Windows のセットアップ] をクリックしてください。
2. ディスプレイの解像度設定が 854 x 480 以下になっているかどうか確認してください。

Windows 95、98、2000、XP を使用している場合:

1. [マイコンピュータ] アイコンを開き、[コントロールパネル] フォルダから、[画面] のアイコンをダブルクリックします。
2. [設定] タブを選択します。
3. [デスクトップの領域] で、解像度設定の欄を見てください。
ディスプレイの解像度設定が 854 x 480 以下になっているかどうか確認してください。

上記のステップを踏んでも、プロジェクターがイメージ全体を表示できない場合、ご使用のモニタのディスプレイも調整する必要があります。以下のステップに従ってください。

4. 上記の1～2のステップに従ってください。"アドバンスプロパティ" ボタンをクリックしてください。
 5. [モニタ] タブで [変更] ボタンを押し。
 6. [すべてのデバイスを表示] をクリックしてください。次に、[製造元] のボックスから [標準のモニタデバイス] を選択します。[モデル] のボックスで、必要な解像度モードを選択します。
 7. ディスプレイの解像度設定が 854 x 480 以下になっているかどうか確認してください。
- ▶ ノートパソコンを使用している場合:
 1. まずコンピュータの解像度設定を上記のとおり設定する必要があります。
 2. ノートパソコンのディスプレイを、" 外部ディスプレイのみ" または "CRT のみ" モードに切り替えてください。
 - ▶ 解像度の変更が困難な場合や、モニタがフリーズしていった場合は、すべての装置とプロジェクターを再起動してください。

問題: ノートパソコンや PowerBook コンピュータの画面がプレゼンテーション画面に表示されません。

- ▶ ノートパソコンを使用している場合:
セカンドディスプレイを使用中に、一部のノートパソコンの画面が無効になることがあります。モニタディスプレイを再起動する方法については、コンピュータの説明書をご覧ください。
- ▶ Apple PowerBook を使用している場合:
[コントロールパネル] で、PowerBook ディスプレイを開き、ビデオミラーリングを [オン] に設定してください。

問題: イメージが不安定またはちらつきがあります。

- ▶ "トラッキング" を使って修正します。21ページをご覧ください。
- ▶ コンピュータからモニタのカラー設定を変更します。

問題: イメージに縦の棒が入ります。

- ▶ "周波数" を使って調整します。21ページをご覧ください。
- ▶ グラフィックカードのディスプレイモードを確認し、製品に符合するよう設定してください。21ページをご覧ください。

問題: イメージの焦点が合いません。

- ▶ プロジェクターレンズのフォーカスリングを調整してください。14ページをご覧ください。
- ▶ 投射画面がプロジェクターから3.94～39.4フィート (1.2m～12.0m) の範囲内にあることを確認してください。

問題:4:3 DVD 再生中にイメージが縮む。

プロジェクターは自動的に4:3 DVD を検出し、全画面を16:9の初期設定にデジタル化してアスペクト比を調整します。

イメージが縮む場合は、下記を参照に縦横比を調整する必要があります。

- ▶ 16:9DVDを再生している場合は、DVDプレーヤーで4:3アスペクト比タイプを選択してください。
- ▶ DVDプレーヤーで16:9アスペクト比を選択できない場合、画面メニューで16:9アスペクト比を選択してください。

問題:イメージが反転してしまいます。

- ▶ OSD の "管理" を選択し、投射の方向を選択します。24ページをご覧ください。

問題:ランプがオーバーヒートした、または音を立てました。

- ▶ ランプが寿命に達する、オーバーヒートを起こし、大きな音を立てます。こうなると、ランプモジュールを交換するまで、プロジェクターの電源を入れることができなくなります。ランプを交換する際は、"ランプの交換" の手順に従ってください。32ページをご覧ください。

問題:LED ランプのメッセージ。

メッセージ	電源 LED 青	温度 LED	ランプ LED
スタンバイ状態 (入力電源コード)	点滅	○	○
ランプ点灯		○	○
電源オン		○	○
電源オフ (冷却)		○	○
エラー (ランプエラー)	点滅	○	
エラー (温度エラー)			○
エラー (ファンロックエラー)	点滅	点滅	○
エラー (オーバーヒート)	点滅		○
エラー (ランプ故障)	点滅	○	

 => ランプオン

○ => ランプオフ

問題:メッセージ確認表示。

- ▶ ランプが消耗すると、"フル電源で使用した場合、ランプの使用期限が近づいています。交換をお勧めします!"というメッセージが約10秒間表示されます。

問題:プロジェクターが自動的にスタンバイモードになる。

- ▶ 環境温度が高すぎます。プロジェクターを少なくとも30分間、適切な温度環境に置いてください。

ランプの交換

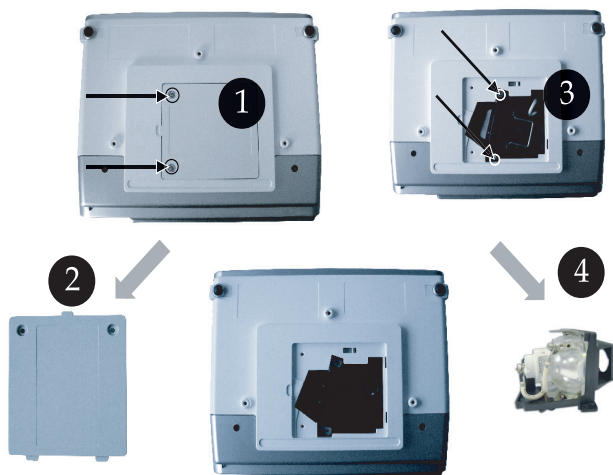
プロジェクターは自動的にランプの寿命を検出します。" フル電源で使用した場合、ランプの使用期限が近づいています。交換をお勧めします!" という警告メッセージが表示されます。このメッセージが表示されたら、できるだけ早くランプを交換してください。

ランプ交換前は、プロジェクターを少なくとも30分間放置し、十分に冷却してください。

ランプは規定の寿命時間以上ご使用にならないでください。使用を続けると、ランプが割れる心配があります。ランプが寿命を超過して長時間使われないよう、プロジェクターではランプ強制消灯機能が働きます。ランプの点灯時間を管理するために、タイマーをつけたり、ランプ交換表示機能を使用することをお勧めします。(定期的にシャットダウンすることをお勧めします。)



△ 警告: ランプ入れは非常に熱くなっています! ランプ交換前に十分に冷却してください!





⚠ 警告: 怪我などを防ぐため、ランプモジュールを落したり、電球部分に触れないようご注意ください。落とすと電球が割れ、身体を傷つける恐れがあります。

ランプ変更手順:

1. [⏻] ボタンを押して、プロジェクターの電源を切ります。
2. 最低30分間放置し、プロジェクターを冷まします。
3. 電源コードを取り外します。
4. ドライバーを使ってカバーからネジを外します。❶
5. 上に上げ、カバーを取り外します。❷
6. ランプモジュールから2つのネジを取り外します。❸
7. ランプモジュールを取り出します。❹

ランプモジュールを取り付ける際は、このステップを逆から行ってください。

規格

以下の規格は予告なく変更することがあります。最終的な規格については、Acer の営業にお問い合わせください。

ランプの電球	- Texas Instruments によるシングルチップ DLP™ 技術
ランプ	- 200W ユーザー交換可能
ピクセル数	- 854 ピクセル(高) X 480 行(縦)
ディスプレイカラー	- 1670万色
コントラスト比	- 2000:1 (フルオン/オフ) (分)
一貫性	- 90%
ノイズレベル	- 30 dB(A) (標準モード)/28 dB(A) (ECOモード)
投射レンズ	- F2.5 (ワイド)、F2.7 (テレ)、f=20.2~24.2mm、1.2x マニュアルズームレンズ
投射画面サイズ (対角)	- 27 ~ 324 インチ (対角)
投射距離	- 3.94~39.4フィート (1.2~12.0 m)
ビデオ互換性	- NTSC/PAL/SECAM および HDTV 準拠 - コンポジットビデオ & S-Video 互換
水平周波数	- 31kHz ~79kHz 水平スキャン
垂直周波数	- 50Hz ~85Hz 垂直スキャン
電源	- ユニバーサルAC入力100-240V、入力周波数 50/60Hz
I/O コネクタ	- 電源:AC 電源入力ソケット - VGA 入力: VGA、コンポーネント、HDTV シグナル用15ピン D-Sub x1 - ビデオ入力: コンポジットビデオ RCA 入力 x1 S-Video 入力 x1 - USB: リモートコンピュータコントロール用 USB コネクタ x1 - オーディオ入力:オーディオ入力用フォンジャック x1
重量	- 2.3 kg (5.1 lb)
サイズ (幅 x 奥 x 高)	- 256 x 198 x 92 mm
環境	- 動作温度:41~95°F (5~35°C) 湿度:最大 80 % (結露なし) - 保存温度:-4~140°F (-20~60°C) 湿度:最大 80 % (結露なし)
安全規定	- FCC Class B、CE Class B、VCCI-II、UL、cUL、TUV-GS、C-tick、PSB、PSE、CB Report、CCC

互換性モード

モード	解像度	垂直周波数 (Hz)	水平周波数 (kHz)
VGA	640 x 480	60 Hz	31.5 kHz
		72 Hz	37.7 kHz
		75 Hz	37.5 kHz
		85 Hz	43.3 kHz
SVGA	800 x 600	56 Hz	35.1 kHz
		60 Hz	37.9 kHz
		72 Hz	48.1 kHz
		75 Hz	46.9 kHz
		85 Hz	53.7 kHz
XGA*	1024 x 768	60 Hz	48.4 kHz
		70 Hz	56.5 kHz
		75 Hz	60.0 kHz
		80 Hz	64.0 kHz
		85 Hz	68.3 kHz
SXGA *	1280 x 1024	60 Hz	64.0 kHz
MAC LC 13"	640x480	66.66 Hz	34.98 kHz
MAC II 13"	640x480	66.68 Hz	35 kHz
MAC 16"	832x624	74.55 Hz	49.725 kHz
MAC 19"	1024x768	75 Hz	60.24 kHz
MAC	1152x870	75.06 Hz	68.68 kHz
MAC G4	640x480	60 Hz	31.35 kHz
i Mac DV	1024x768	75 Hz	60 kHz
i Mac DV	1152x870	75 Hz	68.49 kHz
i Mac DV	1280x960	75 Hz	75 kHz



メモ: "k"は圧縮。